

平成26年度第6回府中市障害者計画推進協議会

会議録

- 日 時：平成26年10月24日（金） 午後2時～4時
- 場 所：府中市役所北庁舎3階第6会議室
- 出席者：（敬称略）
 - <委 員>
高倉義憲、下條輝雄、山本博美、野村忠良、石見龍也、鈴木卓郎、鈴木政博、
荒畑正子、河井文、中山圭三
 - <事務局>
福祉保健部：川田部長
障害者福祉課：松下課長、相馬課長補佐兼生活係長、大島給付係長、
金崎援護担当主査、長岡精神保健担当主査、布目、阿部
地域福祉推進課：宮崎課長補佐兼福祉計画担当副主幹
- 傍聴者：0人
- 議 事：1 前回会議録について
2 障害者計画・障害福祉計画（第3期）の進行管理について
3 その他
- 資 料：資料1 平成26年度第5回府中市障害者計画推進協議会会議録（案）
資料2 障害者計画 進行管理一覧表
資料3 障害福祉計画（第3期） 進行管理一覧表
参考資料 第5回協議会における委員意見への対応方法

開 会

■事務局

本日は、お忙しい中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。ただ今より、平成26年度第6回府中市障害者計画推進協議会を開会いたします。

(※ 資料の確認)

続いて、本日の会議ご欠席の委員についてご連絡いたします。

本日は、杉本委員、真鍋委員、古寺委員、播磨委員、山口委員、諸隈委員、桑田委員、藤巻委員からご欠席とのご連絡を受けております。また、鈴木卓郎委員から遅刻のご連絡をいただいております。

本日の会議の進行につきましては、次第に記載のとおり、会議録のご承認と、現行計画の進行管理といたしまして、平成25年度実績の確認を主な議事としております。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、ここから会長に進行をお願いいたします。

■会 長

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

次第に沿って進行してまいります前に、会議の公開ということですが、本日は傍聴希望者がいらっしゃらないとのことですので、早速議事に入って行きたいと思っております。

1 前回会議録について

■会 長

議事の1、前回会議録について、事務局から説明をお願いします。

■事務局

資料1、本協議会の平成26年度第5回会議の会議録案でございます。こちらの内容は記載のとおりでございますので、ご承認いただきましたら、所定の手続きの上、会議録の公開を予定しております。ご確認をよろしくお願いいたします。

■会 長

事前に送付されたものですので、お目通しをいただいたかと思いますが、お気づきの点等はありませんでしょうか。

(※ 発言なし)

特に無いようですので、事務局は公開手続きをお願いします。

2 府中市障害者計画・障害福祉計画（第3期）の進行管理について

■会 長

続いて、議事の2番、「障害者計画・障害福祉計画（第3期）の進行管理について」に入っていきたいと思います。昨年度から引き続き委員を務めていただいている方はご存知かと思いますが、毎年、前年度の実績を確認・評価し、計画の進捗状況を管理することになっています。まずは障害者計画から確認していきたいと思いますが、項目が多いので適宜区切りながら、事務局には説明をお願いしたいと思います。まずは、目標1「利用者本位のサービスの実現」、管理番号1～20番の事業について、事務局お願いします。

■事務局

それでは、資料に従いまして、障害者計画の平成25年度実績を確認していきたいと思いますが、1点留意点といたしまして、各事業の進行管理は「事業内容や計画値に即し、各年度の事業が実施されたか」という観点で評価していただくものですので、よろしく願いいたします。

資料2をご覧ください。現行障害者計画の後半期、平成24年度から26年度の進行管理一覧表でございます。今回お示ししている資料には、平成24年度と25年度の実績を記載しておりますが、その中でも網掛けになっている部分が、本日ご確認いただきたい部分でございます。平成24年度の実績のうち障害者福祉課が所管している事業につきましては、すでに昨年度の会議にてご確認いただいておりますので、網掛けがかかっておりません。障害者計画につきましては、1ページ目の上部に記載のとおり、「計画事業内容のとおり実施」は○、「計画事業内容の一部を実施」は△、「未実施」は×というように評価をお願いいたします。

全114事業ございますので、ポイントを絞ってご説明させていただきます。

(※ 管理番号1～20番の事業について説明)

■会 長

ここまでの部分について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

■委 員

全体に関することで1点質問です。昨年度の進行管理では障害者福祉課が所管している事業のみ評価をしましたが、今年度は障害者福祉課所管ではない事業についても評価をするということです。おそらく他の課で行っている事業については、そちらの分野で持たれている計画に記載があり、この協議会と同じように各分野で実績の評価を行っているのではないかと思います。そうすると、ここでの評価と各分野内での評価が異なる場合が出てくるとは思われますが、その点についてはどのように考えていけばよいのでしょうか。

■事務局

委員のおっしゃるとおり、他課が所管している事業については、各分野にて進行管理を行っているものを含んでおりますが、評価はあくまでも本協議会の評価として行い、結果を各分野に展開していくものとしております。

■会 長

では、全事業についてここで評価を行っていきたいと思います。

その他いかがですか。

■委 員

管理番号7番「相談支援事業」の25年度実績について、24年度の実績に比べると、み～なの相談件数がかなり減少しています。この減少の理由が何か分かれば教えてください。

■事務局

27年度中にサービス等利用計画を全件作成しなければならないということで、活動の重点をサービス等利用計画の作成にシフトしているという現状です。その影響で、委託相談支援件数は減少しているものと考えております。

■会 長

その他、何かございますか。

■委 員

管理番号14番「サービス提供に携わる事業所の育成」の25年度実績が、「法内移行を目指す事業所に対し、情報提供や助言を行った。」とありますが、具体的な件数があれば記載したほうがよいと思います。

■事務局

平成25年度につきましては、根っこクラブとフラッグスから法内移行に関する相談がありました。2件ということで、追加で記載させていただきます。

■会 長

よろしく申し上げます。

その他にご意見等ないようでしたら、管理番号1～20番については全て「○」という評価でよろしいでしょうか。

(承認)

ありがとうございます。では、目標2「安心して暮らし続けるために」にいきたいと思いますが、事業数が多いので、ここについてはもう少し細かく区切りたいと思います。方針(1)「在宅サービスの充実」、管理番号21～49番について、事務局お願いします。

■事務局

(※ 管理番号21～49番の事業について説明)

■会 長

ここまでの部分について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

■委員

2点、質問があります。まず、管理番号35番「日常生活用具の給付」の中で、おむつ給付と特殊寝台貸与の実績が24年度と25年度とで単位が異なっていますが、実績の数え方が変わったのでしょうか。もう1点は、管理番号40番「福祉移送の支援」についてで、これは再掲の事業なのですが、記載されている更新協議というものがどのようなものなのか、毎年更新をするような事業なのかというところをご説明をお願いします。

■事務局

1点目につきまして、実績の数え方は特に変わっておりません。単位として「件数」より「か月分」のほうが実態に即しているとのことから、25年度実績から変更しております。

同じく管理番号35番に記載しているストマ等の給付実績につきましても、同様の考え方になるかと思しますので、改めて確認させていただきます。

■事務局

2点目についてお答えいたします。本事業は3年に1回更新が必要な事業となっております。24年度、25年度ともに、事業を実施している団体は3団体ですが、24年度が更新時期にあっていた団体はなく、25年度が更新時期にあっていたところが2件あったということです。

■委員

管理番号35番については数字の増減は単純に比較してよいとのことでしたが、そうすると実績がかなり減少していることになります。また、単位の変更についての説明を備考欄に入れるなどしたほうが分かりやすいと思います。

管理番号40番についても同様に、「3年に1回更新が必要」など、備考欄へ記載したほうがよいと思います。

■会長

そうですね。では、事務局は備考欄への記載をお願いします。

その他にご意見、ご質問ございましたら、お願いします。

■委員

管理番号26番「就労移行支援」の実績が、24年度から25年度で減少しているのですが、この人数の差は一般就労移行したということなののでしょうか。

■事務局

この数値はあくまでも一月あたりの就労移行支援の利用者数ですので、差分が一般就労したと

いうことではありません。

■委員

管理番号29番の放課後等デイサービスの実績についてですが、24年度に比べると25年度に大きく実績が伸びています。増加した理由が分かれば、お願いします。

■事務局

25年度に、めろでいやプレイスなど、放課後等デイサービスの事業所が新しく開所しておりますので、その影響と考えられます。

■会長

そうしましたら、備考欄に「施設増による実績の増」と注釈を追加したほうがよいですね。その他、いかがですか。

■委員

管理番号41番「コミュニティバスの運行」について、ちゅうバスの運賃が値上げされるような話を聞いたのですが、実際に行われるのでしょうか。移動に利用している障害のある人は多く、私の周りでも心配している人がいるので、現状を教えてくださいと思います。

■事務局

先日、「府中市コミュニティバス検討協議会」が開催されましたので、そこでのお話かと思えます。この会議は、コミュニティバスの運行に関する課題を協議し、運行内容を改善していくことを目的としております。近年の本市の厳しい財政状況の中で、いかに運行内容を効率的かつよいものにしていくかということで、様々な意見が出されているようです。今後の協議内容をもとに方向性が決まるものですので、運賃の値上げについては現段階で決定しているものではございません。

■委員

その協議会に出席しておりましたので、補足いたします。今説明のあったように、運賃の値上げを含む様々な意見が出ており、例えば運行ルートの見直しなども案としてあがっています。まだ話し合いが始まったばかりですので、今後どうなるかは分かりませんが、運賃が値上げされると困るという意見があるということで、伝えていきたいと思えます。

■会長

ありがとうございました。

他にご意見等ないようでしたら、評価に移りたいと思えます。管理番号23番「難病患者ホームヘルプサービス」は、総合支援法の中で実施というように変わっておりますので、25年度

につきましては評価できないということで「-」とさせていただきたいと思います。管理番号33番「未利用公有地等の有効活用に向けた検討」の25年度実績は、事務局から説明のありましたとおり、「検討は1件行ったが、活用にはいたらなかった」と修正されましたので、評価としては「○」になるかと思います。管理番号21～49番のその他の事業は、計画どおり実施されているということで「○」とさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(承認)

続いて、目標2の方針(2)「保健・医療との連携の促進」、管理番号50～63番について、事務局をお願いします。

■事務局

(※ 管理番号50～63番の事業について説明)

■会長

事務局から説明が終わりました。ここまでの部分について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

■委員

管理番号56番「訪問看護の充実」の担当課が、健康推進課から障害者福祉課に変わったということですが、何年度の時点で変わったのかが分からないので、追加して記載してほしいと思います。

■事務局

24年度実績から変わっておりますので、その旨を追加させていただきます。

■委員

管理番号56番「訪問看護の充実」のところに「市長会を通じて要請した」という記述があるのですが、63番「自立支援医療・医療費助成の充実」を見ると「課長会を通して要望した」と書かれています。市長会と課長会とで、何か違いはあるのでしょうか。

■事務局

流れとして、まず、東京26市の障害者福祉担当課長が集まる課長会がありまして、そこに府中市障害者福祉課としての要望をあげます。課長会で話し合い、まとまった要望書が市長会に提出されます。その要望書をもとに、市長会で話し合われた結果が都に提出されるという流れです。「課長会を通じて」も「市長会を通じて」も同じ流れを指しておりますので、今後は「課長会を通じて」に統一して記載させていただきます。

■会長

では、事務局は修正等お願いします。

他にご意見等ないようでしたら、管理番号50～63番の事業の評価に入ります。管理番号52番「訪問保健指導」は平成23年度から介護保険サービスの中で実施しており、事業は廃止となっていますので、評価はできないものとして「-」とさせていただきたいと思います。その他の事業は「○」という評価でよろしいでしょうか。

(承認)

それでは続いて、目標2の方針(3)～(6)、管理番号64～91番について、事務局お願いします。

■事務局

(※ 管理番号64～91番の事業について説明)

■会長

事務局から説明が終わりました。ここまでの部分について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

■委員

管理番号76番「障害のある人を対象とする職員採用試験の実施」の24年度実績が、「採用試験を実施したが、合格者がいなかった。」となっていますが、応募者はいたのでしょうか。

■事務局

応募者数について、すぐにお示しすることはできないのですが、市ホームページに情報を公開しているとのことです。

また、職員採用試験に関しましては、応募資格が身体障害に限定している点について、知的障害や精神障害にも広げて募集をかけるよう担当課に要請しているところですが、現段階ではまだ実現しておりません。

■委員

分かりました。合格者数だけでなく応募者数も載っていると状況が分かりやすいので、追加してほしいと思います。

■会長

では、事務局は対応をお願いします。

その他、ご意見やご質問ございますか。

■委員

管理番号84番「共同生活援助」、85番「共同生活介護」について、現在は一元化されてい

ますが、実績は別の記載でよいのでしょうか。

■事務局

グループホーム、ケアホームの一元化は26年度から実施されておりますので、26年度実績からは合計した数値を記載していきたいと思えます。

■委員

管理番号74番「就労支援事業を中心とした就労支援体制」の実績について、24年度には件数と延べ人数が載っていますが、25年度には件数のみの記載になっています。数え方など再度確認したほうがよいのではないのでしょうか。

■事務局

報告書の集計方法を変更したため、25年度より実績の出し方が変わっています。再度確認させていただきます。

■会長

事務局は確認をお願いします。

その他にないようでしたら、評価に進みたいと思えます。管理番号64～91番の事業の進捗状況は、すべて計画どおりの「○」という評価でよろしいのでしょうか。

(承認)

続いて、目標3「地域で支える福祉をめざして」、管理番号92～99番について、事務局お願いします。

■事務局

(※ 管理番号92～99番の事業について説明)

■会長

事務局から説明が終わりました。ここまでの部分について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

■委員

管理番号94番「ボランティアなどによる地域サービスへの支援」の25年度実績が、「福祉団体として登録した団体へ公共施設の利用支援などを行った」とありますが、これは地域福祉推進課で行っている事業のことでしょうか。

■事務局

はい。地域福祉推進課で行っていた福祉活動団体推進支援事業が24年度で廃止となり、現在は記載のとおり施設の利用支援などを行っているのみとなっております。団体に対する助成事業

は、市民活動支援課で行っている市民協働団体に対する助成がございますので、備考欄への記載を検討いたします。

■会 長

よろしく申し上げます。

その他、いかがでしょうか。

■委 員

管理番号99番「災害時要援護者支援体制の整備」の実績について、名簿登録希望者数、救急医療情報セット希望者数という表記になっています。希望者数ということは、実際に登録をしている人数、救急医療情報セットの配布数とは異なるのでしょうか。高齢と障害の人数が合計されているという点も、実態が分かりにくくなっていると思います。

■事務局

ご指摘をふまえて、各年度の実態がより分かるような表記を検討してまいります。

■会 長

他にないようでしたら、評価に進みたいと思います。管理番号92～99番のうち、97番「障害のある人の技能等の活用」は未実施ということなので、24年度、25年度ともに評価は「×」としたいと思います。その他の事業については「○」という評価でよろしいでしょうか。
(承認)

続いて、目標4「ともに歩む地域をめざして」、管理番号100～114番について、事務局
お願いします。

■事務局

(※ 管理番号100～114番の事業について説明)

■会 長

事務局から説明が終わりました。ここまでの部分について、ご意見、ご質問等ございましたら
お願いします。

■事務局

管理番号109番「難病患者への支援の充実」について1点追加いたします。難病患者等日常生活用具給付事業の25年度実績を記載しておりますが、対象者が総合支援法のサービスに移行したため、本事業は25年度より廃止となっております。その旨を備考欄にも記載のうえ、修正
させていただきます。

■会 長

よろしく申し上げます。その他いかがでしょうか。

管理番号102番「福祉まつり」の25年度実績が、台風の影響により中止ということなのですが、これは未実施ではなく、評価できないということでしょうか。

(※ 意見なし)

■会 長

それでは、102番「福祉まつり」は24年度は「○」、25年度は「-」の評価とさせていただきます。その他の事業については、管理番号105番「移動ルートの整備促進」の24年度実績は「○」、25年度実績は未実施なので「×」、管理番号106番「バリアフリーマップの見直し・充実」の24年度実績は実績なしなので「×」、25年度実績は「○」、残りの事業については全て「○」という評価をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(承認)

ありがとうございます。

以上で、障害者計画の進行管理は終わりましたので、次に障害福祉計画（第3期）の確認に進みたいと思います。こちらは計画比による単純な評価ですので、まとめて事務局から説明をお願いします。

■事務局

資料3をご覧ください。障害福祉計画（第3期）の進行管理一覧表でございます。今回ご確認いただきたい25年度実績は、網掛けでお示ししております。障害福祉計画につきましては、1ページの上に記載しておりますとおり、計画比が80%以上で◎、60～79%で○、40～59%で□、20～39%で△、19%以下で×というように、機械的に進捗状況进行评估します。評価内容をご説明いたしますので、この評価でよろしいかどうか、委員の皆さまに協議をお願いいたします。

(※ 1～5ページの内容について説明)

■会 長

では、資料3の内容について、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

■委 員

3ページ、(2)「①手話通訳者・要約筆記者派遣事業」の派遣人数の備考欄に、「広域派遣を除く」という記載があるのですが、広域派遣の内容が分からないので、説明をお願いします。

■事務局

手話通訳者や要約筆記者の派遣は、基本的には都内を対象としているのですが、遠方への派遣

を希望されたときに、その都道府県の通訳者等派遣センターと連絡をとりあって可能であれば、その都道府県の手話通訳者や要約筆記者を派遣するということがあります。このようなケースを広域派遣と呼んでいます。

■委員

2ページの短期入所の実績について、24年度から25年度でだいぶ減っているのですが、この理由が分かればお願いします。

■事務局

推測になってしまうのですが、25年度にみずきの府中市割り当て分が減っているのも、その影響かと思われます。

■委員

わかりました。実績が減っていることでニーズも少なくなっているととらえられてしまうと困るので、確認しました。

■会長

その他、いかがでしょうか。

■委員

3ページの地域移行支援、地域定着支援について、精神障害者に係る実績が計画比700%となっていており、そもそもの計画値の出し方が適当でないと思います。

■事務局

3年前に障害福祉計画（第3期）をたてた時点では、地域移行支援や地域定着支援を進めていくという方針も定まっておらず、見込みが甘かった部分がございます。障害福祉計画（第4期）では、実績を踏まえて見込量を設定しております。

■会長

他にご意見等ないようでしたら、評価に入らせていただきたいと思います。

1ページ目の就労移行支援の実利用者数が「○」、2ページ目の短期入所のサービス量は「○」、実利用者数は「□」、3ページ目の地域移行支援は「□」、市町村相談支援機能強化事業は「－」、4ページ目の①介護・訓練支援用具は「□」、③在宅療養等支援用具は「○」、⑥居宅生活動作補助用具は「□」、移動支援事業の延べ利用時間数は「○」、5ページ目の手話通訳者養成研修事業は「×」、これ以外の評価は全て「◎」ということでしょうか。

(承認)

事務局は、本日の協議を踏まえ、進行管理一覧表に評価の入力をお願いします。

3 その他

■会 長

では最後に、次第の3番「その他」について、事務局から何かございますか。

■事務局

まず、本日机上去用意いたしました参考資料は、前回の第5回会議にて皆様からいただいた次期計画の素案に対するご意見とその対応方法をまとめたものでございます。前回会議後、正副会長と検討させていただき、資料に記載のとおり素案に反映いたしました。その素案をパブリックコメントの実施に伴い公表いたします。修正点の詳細につきましては、次回以降の会議にてお示しさせていただく予定でございます。なお、パブリックコメントの実施期間は、11月5日（水）から12月5日（金）を予定しております。

また、本協議会の次回以降の開催につきまして、事前に正副会長と調整のうえ、第7回及び第8回の日程を決めさせていただきましたので、ご連絡いたします。第7回会議は11月28日（金）の午後2時から、第8回会議は12月24日（水）午後2時から、開催させていただきたいと存じます。内容としましては、第7回では素案の修正点のご説明や障害福祉計画（第4期）の見込量の精査、第8回ではパブリックコメントの実施結果の確認を予定しております。改めて開催通知を送付させていただきますので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご出席いただきますようご協力よろしくお願いいたします。

■会 長

それでは、その他に委員の皆さまから何かございますか。

■委 員

資料2の4ページに記載されている福祉タクシー事業について、現在は身体障害と知的障害の方のみが対象となっています。精神障害の方についても、通院にかかる移動が困難な方がいらっしゃると思いますので、ぜひ対象に含めることを検討していただきたいと思います。

■事務局

以前から、ご意見をいただいております、こちらも必要性を認識しているところでございますので、対象者の見直しを進めてまいります。

■会 長

他に、ご意見やご質問などございますか。

(※ 発言なし)

では、これをもって本日の会議は終了いたします。どうもありがとうございました。

以上